

まごのてグループ株式会社 統合開発室 第71回会議

日時：令和7年1月13日（祝）15時～16時

場所：亀岡・湯の花温泉 「溪山閣」会議室

住所：京都府亀岡市ひえ田野町佐伯下峠20番地6

参加者

まごのてグループ株式会社	植野	代表取締役
	知野	取締役
	堤	FC本部長
セルフサポート株式会社	峯	代表取締役
株式会社ジャストライフ	武村（聡）	代表取締役
	植野（泰）	取締役
グリーンライフ株式会社	中村（豪）	代表取締役
株式会社こみつ	井藤	代表取締役
株式会社アドナース	廣瀬	取締役
ライフプラス株式会社	林	代表取締役
株式会社びりーぶ	加藤	代表取締役
株式会社サクセスフルエイジング	木下	代表取締役
ほっと株式会社	石田	代表取締役
オアシス株式会社	尾呂（雄）	代表取締役
株式会社サンフラワー	大橋	代表取締役
株式会社歩	森實	代表取締役
株式会社ワンアップ	稲田（貴）	代表取締役
株式会社アイケア	西村（仁）	代表取締役
株式会社YELL	黒田	代表取締役
株式会社紫Yukari	北川	代表取締役
株式会社Mic Corporation	住里	代表取締役
株式会社P. yes. P	玉井	代表取締役
	奥野	取締役
Roots株式会社	松井	代表取締役
株式会社Dear fam	藤田（和）	代表取締役
株式会社Coccolle	小澤（大）	代表取締役
株式会社ブルーム	和田	代表取締役
株式会社ルミエール	奥村	代表取締役
株式会社QUON	西村（親）	代表取締役
株式会社こもれ美	小西	代表取締役
	川染	取締役
株式会社fellows	清水（直）	代表取締役
株式会社Circle	清水（大）	代表取締役
株式会社オレンジ	安藤	代表取締役
株式会社あいのはな	山住	代表取締役
株式会社HOITTO	渋谷（暢）	代表取締役

株式会社若泉L&L	若泉	代表取締役
株式会社GLANZ	森永（有）	代表取締役
株式会社メラキ	佐藤	代表取締役

<オブザーバー>

株式会社G o b e y o n d	森本	代表取締役
	東元	取締役
	藤原	取締役
株式会社GOAT SUPPORT	有川	代表取締役
一般社団法人福祉介護事業支援夕映舎	住田	代表理事

(敬称略)

1. 開会あいさつ

株式会社ジャストライフの武村代表取締役より開会のあいさつがあり、そのまま武村議長の司会により議事が進行した。

2. 議題（協議・報告事項）

①新規事業所開所予定について（植野会長）

3／1 まごのて富士（株式会社和心）

3／1 まごのて姫路（株式会社G o b e y o n d）

4／1 長岡京2店舗目（株式会社GOAT SUPPORT）

それぞれ植野会長よりご紹介があり、会場に出席していた株式会社G o b e y o n dの森本社長、株式会社GOAT SUPPORTの有川社長からご挨拶があった。一同、盛大な拍手でもって歓迎の意を表した。

②まごのて」以外の事業所名をつける事について（植野会長）

黒帯会議執行部会での決定事項として、事業所名を「まごのて」以外のものに変更することは、2026年1月12日の統合開発室会議開始時までは自由。その後は、

- ・新規開設事業所については「まごのて」名称の使用を必須とする。
- ・既存事業所については、名称変更およびその周辺事項に関して、黒帯会議執行部会の許可制とする。※執行部会に参加いただき、名称変更についてのプレゼンをしてもらいます
- ・不祥事等を起こした事業所に関しては、黒帯会議執行部の権限において、そのときの状況に応じて処断する。※処断の例として「事業所名の変更をさせることもある」等

以上の説明があり、その場で賛否が問われたが、特に反対意見等は無かったため、本議題については決定とされた。

ちなみに、黒帯会議執行部会で上記の決議がなされた以降に、グループ各社にご意向を問うメールが本部より送られたが、それ以前に名称変更の意思表示を出していた会社のほかには返答は寄せられなかった。

黒帯会議執行部会での決議前に名称変更が決定済なのは、株式会社ジャストライフ、株式会社Mic Corporation、株式会社P. yes. P、株式会社ブル

ーム、株式会社こもれ美の各社である。

③既存事業所の売上げの推移について（植野会長）

グループ各社の中には、「上を目指したいが、どうやっていいかわからない」「課題が見えない」等という会社もあるかと思うが、そういう場合には、ぜひ遠慮なく私（植野会長）へ相談してほしい。

④従業員向けの誓約書について（堤FC本部長）

誓約書の文言に「退職後2年間起業しない」という一文が入っているが、在職中に起業されることを制限するべきではないか？ との提言が、実際に事例があったとのことで株式会社Mic Corporationの住里社長からあったので、誓約書に「在職中及び退職後2年間～」と入れる件について、まず西陣事業所として作成・配布するので、ご活用いただきたい。

⑤2026年度総会について（植野会長）

今年のみごのてグループ総会は、ここ数年のラスベガスやセドナとは違い、ぐっと近場の台湾開催を予定しているので、皆さんぜひご参加ください。

※会議後、開催に関する詳細連絡がグループ本部より周知された。

2026年5月13日（水）現地時間19時～

⑥2025年度補正予算にもとづく補助金、および2026年度臨時報酬改定について
オブザーバータ映舎の住田から、2025年度補助金および2026年度臨時報酬改定について、その見通し等が会議の場を借りて行われた。

これを受けて、植野会長より、2月初め頃の日中に黒帯メンバーを募って協議することが発表された。3月の次回総会にてグループとしての具体的な取り組み方法について発表される予定。

今回の補助金におけるトピックの一つが「ケアプランデータ連携システム」の導入であるが、堤FC本部長よりかんたん介護ソフト側へ状況の確認を行ったところ、「いまのところ、ケアプランデータ連携システムに対応する機能の実装の予定は無い。ただし対応検討中」とのことであった。

4. 各事業所提案及び企画

株式会社QUONの西村社長より、京都市中部医療的ケア部会の研修会が2月12日（木）10時～12時で予定されているので、皆さんぜひご参加を！ とのことであった。添付資料ご参照。

株式会社紫Yukariの北川社長より、同社が特定行為（たん吸引等）の3号研修の登録研修機関となっているので、ぜひご活用ください、とのプレゼンがあった。同社ウェブサイトにも記載あるが、事務手数料は3,000円、時と場合により、また枚数にもよるが、即日発行も可能。支援の合間にご持参いただければ、郵送費も不要。郵送の場合も、事前にラインワークスに登録いただき、書類の不備・不足を確認してからという形を取るのでは、何度もやり取りする必要なし。

「すでにご利用の事業所からは喜んでいただいているので、基本研修や勉強会とあわせて皆様も、ぜひご利用を」

株式会社P. y e s. Pの玉井社長より、2月1日より現在の就労継続支援A型P. L a bに就労継続支援B型事業所を併設することになったので、ご利用者さんがおられたら宜しく、とのプレゼンがあった。

株式会社サクセスフルエイジングの木下社長より、同社で運営している就労継続支援B型G R A I Nが、このたび京都市から表彰を受けることになったという喜ばしい報告がなされた。ドライフルーツを通じたS D G sの取り組みが評価されたとのことで、1月14日に京都市長から直接表彰を受けられる。一同拍手でもってその壮举をたたえた。

株式会社C i r c l eの清水社長より、2月1日より生活介護事業所M o z a i q（モザイク）を新規オープンする旨のお知らせがあった。

5. 協議・承認

*上記議題承認の是非

6. 次回会議開催日時の決定

次回の第72回まごのてグループ統合開発室会議は、令和8年3月16日（月）18時～開催されることが決定した。